

第6号

発行責任者
幕張ベイタウン協議会
www.bt-machi.com

幕張ベイタウン協議会

NEWS

第五回総会を開催

一般社団法人の設立を承認

幕張ベイタウン協議会は、7月21日、ベイタウンコア音楽ホールで第五回総会を開催しました。総会には団体会員11団体、個人会員23名が参加。平成25年度の活動報告、決算報告に続いて、規約改定、平成26年度の活動計画、収支予算、役員選任などの議案が決議されました。



コアでの第五回総会

また、「一般社団法人幕張ベイタウンまち育てサポート」を設立すること

が承認されました。この組織は、「幕張新都心住宅地区の管理・運営のあり方に関する研究会（以下「あり方研」という）」報告書（千葉県企業庁平成20年3月）で提案されている「管理運営会社」として、ベイタウンの維持・管理を担う主体となることが期待されています。

報告事項として、①千葉市助成事業「地域課題解決・連携支援モデル事業」による「幕張ベイタウン連携会議」への取り組み、②幕張ベイタウン地域運営委員会設立準備会の設立、③幕張新都心住宅地区廃棄物空気輸送システムの千葉市への引き継ぎ、④千葉県知事、千葉県企業庁長及び千葉市長あて要望書の提出などが報告されました。

協議会の平成26年度役員は、会長に遠山さん

（パティオス5番街）、副会長に伊藤さん（パティオス17番街）が再任され、新たに副会長として

熊谷千葉市長に要望書提出

幕張ベイタウン協議会はあり方研で提案された「管理運営機構」の実現等に向けて、7月1日午前千葉市長、午後千葉県知事及び千葉県企業庁長あてに、それぞれ要望書を提出しました

平成7年の街開きから約20年、幕張ベイタウンは、千葉県、千葉県企業庁及び千葉市が、相互の連携の下に、詳細なデザインガイドライン等に基き美しい街並みを誘導し高水準の公共施設を整備するなど、先進的なまちづくりを実現してきました。

しかしながら、住宅事業者による住宅建設の完了、開発の主体である千葉県企業庁の平成28年3月閉庁をひかえ、ベイタウンの美しい街並みや高水準の公共施設を維持管理していく仕組みが、未だ未整備であることから、協議会は千葉市、千葉県及び千葉県企業庁に

熊倉さん（パティオス12番街）が選任され、第五回総会は無事に閉会しました。



千葉市長へ要望書を提出

対して、①あり方研で提案された「管理運営機構」の実現、②活動拠点「地域連携センター（旧打瀬子供ルーム）」の継続利用、③ベイタウン内未利用地の千葉市への移管・有効活用、④デザインガイドラインの承継等景観形成体制整備への協力、⑤「管理運営機構」構築に向けて住宅事業者への働きかけの五項目について、要望しました。

一般社団法人 幕張ベイタウンまち育てサポート

あり方研で提案された「管理運営機構」のなかで大切な役割を担う「管理運営会社」の設立は、住宅事業者と住民が連携して進めることになっていきましたが、住宅事業者による動きが停滞していました。そこで協議会による「管理運営会社」設立を先行させることとし、総会での承認を得て、7月21日「一般社団法人幕張ベイタウンまち育てサポート」の設立総会を開催しました。

この会社は、「幕張ベイタウン協議会」が企画・立案する事業の支援・実施を通じて幕張ベイタウンにおける地域マネジメント等のまち育て活動を推進し、都市機能や居住環境の維持・向上、街並景観の保全等を目的にしています。

活動の財源は幕張ベイタウン内の資産活用等により確保することを計画しています。

関係団体（ステークホルダー）が連携し 地域運営委員会設立準備会

千葉市では、住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が継続できるよう、各地区に地域運営委員会の設立を促進しています。幕張ベイタウンではこれまでの関係団体による連携を継続し、地域運営委員会設立準備会を設置することとしました。

幕張ベイタウン協議会は、平成24年度は、千葉県の「連携・協働による地域課題解決モデル事業補助金」を受けて関係団体（ステークホルダー）に呼びかけ「ベイタウンマネジメント円卓会議」を組織し街の課題の把握とその解決方法を議論し、平成25年度は、千葉市の「地域課題解決・連携支援モデル事業補助金」を受けて「幕張ベイタウン連携会議」を開催し「ベイタウン景観シンポジウム」や「ベイタウン子ども街歩き」「美浜区魅力発見ウォーキング」などに取り組んできました。

平成26年度は、千葉市民政局市民自治推進課から「地域運営委員会」設

千葉市美浜区白井区長他来賓の方々を含め24名が参加しました。

設立総会では、幕張ベイタウン地域運営委員会設立準備会規約、平成26年度活動計画、役員選任などの議案が可決承認されました。

設立準備会の役員は以下の方々です。
会長：遠山（協議会・自治連会長） 副会長：山根（商店街理事長）伊藤（商部会長）熊倉（民・児協会会長）西村（青少年育成委員会）内田（スポ振会長） 会計：大屋（協議会） 監事：鎌倉（商店街）

「幕張ベイタウン地域運営委員会設立準備会」の設立総会は8月3日、地域連携センターで開催され、構成団体の役員、

熊谷千葉市長がベイタウンを来訪

千葉市長と懇談

熊谷市長が、幕張新都心活性化に向けた千葉市の取組方針を説明するため、6月7日に幕張ベイタウン協議会を来訪、遠山会長を始めとする協議会メンバー15名と懇談しました。

熊谷市長からは、幕張新都心を活性化するため

協議会にも海辺活用に向けて、千葉県への働きかけを支援してもらいたいとの申出がありました。

市では今後、これらの取組みを効率的に進めるため、8月からは千葉市幕張新都心室を幕張テクノガーデンに移転し職員を常駐させる予定です。

協議会からは、新たなにぎわいの拠点づくりについて市に協力するが、ベイタウン商店街の活性化にもつなげる等、ベイタウンとの関係にも留意しつつ進めて欲しい旨を要望しました。

合わせて、幕張ベイタウン地域連携センターの継続利用を始め、協議会のまちづくりへの協力を申し入れました。



千葉市長と協議会による懇談会

美浜区 区民対話会開催

7月20日、幕張ベイタウン地域連携センターで、美浜区主催で「地域の将来像と担い手」をテーマとする区民対話会を開催しました。

美浜区からは、白井区長をはじめ、山崎副区長兼地域振興課長、白鳥保健福祉センター所長、米華くらし安心室長、坂本

地域づくり支援室長等7名が出席、ベイタウンからは、遠山幕張ベイタウン協議会会長兼自治連会長、伊藤副会長兼社協打瀬地区部会長、山根商店街振興組合理事長、熊倉民・児協会会長、西村青少年育成委員会会長、内田スポーツ振興会会長等24名が参加しました。

対話会は、白井区長から、地域コミュニティの必要性、現状と問題点、打瀬地区の人口・人口構成の現状と将来推計、自治会等の結成状況、住民アンケート調査結果、打瀬地区の課題等について



24名が出席して区長と対話

スライドを使ったプレゼンテーションがありました。

その後、質疑応答や、各団体と区役所との意見交換があり、時には厳しい意見もだされましたが、地域の実情・実態の紹介、あるいは幕張ベイタウンの特長・特殊性・課題、ベイタウンで育ち、成人となった子供たちの街への帰郷などが話し合われました。

最後に、今後も区長と区民とが直接対話する区民対話会を継続していくことが確認され、各地区ごとに開催される最初の区民対話会を終了しました。